

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報(10月9日～10月22日掲載分)

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・各種情報
- ・分野別情報
- ・各種手続き
- ・その他

2 現場リポート

- ・行政実務研修員の奮闘記(第2回)
 - ・ナンバープレート製作現場を見学してきました
 - ・自動車の点検・整備の重要性を楽しみながら学べる
- 「第15回自動車まつり」開催

3 お知らせ

- ・『九州離島観光地域づくりシンポジウム in 奄美群島』のご案内

4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 (10月9日～10月22日掲載分)

----- 報道発表 -----

『九州離島観光地域づくりシンポジウム in 奄美群島』を開催します！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1009-kankou.pdf>

平成26年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の認定について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1009-buturyu.pdf>

「トロッコ喫茶！秋の阿蘇路をゆく」の開催延期について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1010-keikaku.pdf>

「パリアフリー教室 in 東与賀小学校」の開催中止について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1010-syohi.pdf>

瀬戸内クルーズセミナー・おもてなし実地研修を開催 ～クルーズ客船の寄港を目指して～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1017-kankou.pdf>

香港・台湾で人気の情報誌「香港ウォーカー」と「壹週刊」を招請し九州観光を大々的にPRします！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1020-kokusai.pdf>

貨物自動車の過積載絶滅運動の実施について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1020-kansa-e.pdf>

平成26年自動車及び観光関係功労者九州運輸局長表彰について

～平成26年九州運輸局長表彰式を開催～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1020-jinji-e.pdf>

平成26年自動車関係功労者国土交通大臣表彰について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1020-jinji-02.pdf>

----- お知らせ -----

平成26年度鉄道等無事故及び鉄道関係功労者表彰について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-1016-keikaku.htm

平成26年度九州運輸局管内整備管理者選任前研修（後期）日程について
（日程追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-1017-hoan.htm

平成26年度第2回自動車検査員教習の日程等について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-1020-seibi.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施予定情報

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_YOTEI

企画競争実施公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

企画競争結果の公表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA

九州のうんゆ（平成26年10月20日公表分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/26.10.pdf>

----- 分野別情報 -----

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般乗合旅客 26年9月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/niriai26.htm>

（一般貸切旅客 26年9月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri26.htm>

（一般乗用旅客 26年9月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou26.htm>

（一般貨物 26年9月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26.htm>

（一般貨物（過積載） 26年9月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai26.htm>

累積違反点数が20点を超える事業者の状況はこちら

（一般乗合旅客 26年9月末現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai26cho.htm>

（一般貸切旅客 26年9月末現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri26cho.htm>

（一般乗用旅客 26年9月末現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou26cho.htm>

（一般貨物 26年9月末現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26cho.htm>

《バス・タクシー・トラック》

バス（バスの申請・処分状況 9月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jibu_ka/bus/bus_syobun2609.pdf

トラック（トラックの申請・処分状況 9月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jibu_ka/truck/truck_syobun2609.pdf

タクシー（タクシーの申請公示状況 10月21日公示掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji261021.pdf

----- 各種手続き -----

海技試験制度・合格発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

----- その他 -----

《総合案内》

職員採用情報（一般職試験（高卒者試験）追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/saiyou/body.htm>

《バナー》

消費税免税店サイト（観光庁リンク）

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/index.html>

2 現場レポート

行政実務研修員の奮闘記（第2回）

本年4月より、九州運輸局企画観光部には、観光交通調査室が設置され、行政実務研修員として、2名の方が地方自治体より派遣され、国際観光に関する業務に携われ、日夜奮闘されています。

今回は現場レポートの第2回目。熊本県上天草市から派遣の橋本調査員です。

私は、4月1日付けで、熊本県上天草市役所から企画観光部観光・交通調査室兼国際観光課に着任致しました橋本です。本来、私は市役所で勤務する地方公務員であり、今回初めて国の行政機関で勤務することとなりました。九州運輸局での勤務は、日々新しい発見などがあり新鮮な気持ちで勤務しております。

今回の派遣において私がメインで行っている業務は、訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業、通称「V」事業）や外国人の受入環境整備に関する事業の一部を担当しています。

各地方運輸局においては、V事業の中でも、特に地方連携事業をメインに行っており、本局においては、主に（一社）九州観光推進機構や地方自治体と連携して、外国人旅行者を九州へ呼び込むための取り組みを行っております。

さて、今回、本局での業務に携わる中でつとに感じることは、市役所での勤務の時と比較して、より広い視点で業務に臨まなければならないということです。これまでは、主に市民の皆さんや市議会に対し、説明責任を負っているため、実施する施策や事業が、自分たちの市に対してどのように影響するのかという視点で仕事に取り組んできました。

市町村職員は、住民の皆さんに一番近い立ち位置で当該市町村に関する行政サービスに従事するため、当然のことなのですが、このような視点で業務に携わると、限られた範囲でのみ効果的な施策の立案になりがちです。

今の業務を通して、国という立場でどのように施策立案や事業実施を行っているのかというのを体験すること、他自治体等の取り組みを情報収集するとともに、各担当者とのネットワークを広げることがミッションではないかと考えています。短い期間の中で、少しでも多くのことを吸収していけるよう。これからも頑張っていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いします。

【企画観光部 国際観光課】

ナンバープレート製作現場を見学してきました

去る9月10日、大分市にある城東工機株式会社へナンバープレート製作の工場見学に行ってきました。

私は本年4月に採用され、登録部門で業務を行っておりますが、ナンバープレートがどこでどのように作られているのか知りませんでした。どこか一カ所で集中的に作っているものと思っていたので、職場の近くに大分ナンバーだけを製作している工場があるとは驚きでした。他の地域ではナンバープレート製作を他県の業者に依頼しているところもあるということで、大変貴重な経験をさせてもらうことができました。

はじめに、同社代表より会社の沿革やナンバープレートにまつわる話がありました。特に印象に残ったのが、字光式ナンバーについてです。雪国において、雪の付着したナンバーを熱で溶かし視認性を確保するために開発されたということを知りました。現在ではファッション感覚で付けられることも多い字光式ナンバーですが、最初はそのような意味で作られたのかと興味深かったです。

次に、実際にナンバープレートを製作している工場を見学しました。かなりコンパクトなスペースで作業を行っており、自分のイメージしていた工場とはかなり違っていました。ナンバー製作は、まず板にナンバーを機械で打ち出し、色づけ、焼き付けで完成という工程でした。

工場には毎日の品質チェックを行うスペースがあり、傷をつけたり折り曲げたりして色が剥げないかどうかを入念に調べていました。一日におよそ5000組作るそうで、コンパクトなスペースでそれほど多くのナンバーを作っていることに驚きでした。作られたナンバーはいったん倉庫に保管され、交付代行者に納品されます。ナンバープレートは盗難され悪用されることがあるので、保管庫には監視カメラが設置されているなど厳重に保管されており安心しました。

最後に、再び会議室へ戻りナンバープレートの品質チェックについての話がありました。数ヶ月や数年に一度、公的な機関で厳しい検査を受けるそうで、さまざまな試験をクリアしてようやく国民の皆様の手に渡るものだということを知ることができました。

また、東京オリンピックを控え、オリンピックナンバーの試作品を見せてもらいました。まだまだ課題が多く現時点では条件をクリアしていませんが、6年後のオリンピックを盛り上げるためにも、是非実現してほしいと思いました。

今回、自分の勉強不足を反省しながらも実際の製作過程を見ることで自分の行っている業務に現実感が出てきました。自分の行った業務で車検証のナンバー等が書き替わり、最終的にナンバープレートが交付されるという業務の流れを今までよりも深く理解できるようになった気がします。

仕事は自分一人の力だけではできるものではなく、様々な業務が組み合わさり、一つの仕事をしているのだという実感が持てました。これからも関係団体などの皆様と連携しながら、日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

【大分運輸支局 登録部門】

自動車の点検・整備の重要性を楽しみながら学べる 「第15回自動車まつり」開催

去る10月11日、熊本運輸支局構内で（一社）熊本県自動車整備振興会主催による「第15回自動車まつり」が開催されました。

この自動車まつりは、自動車整備振興会を中心として、県内の自動車に関係する多くの機関や団体等の協力のもと、当日開催される様々な催し物を通じて、自動車ユーザーの保守管理意識・交通安全意識の高揚を図るとともに、確実な定期点検整備の励行につなげることを目的として開催される大規模な自動車イベントで、平成12年に始まり今年で15回目を迎えました。

当日は台風19号の接近もあり開催が心配されましたが、曇り空ながらも幸い雨風もなく、まず、整備振興会斎藤会長の主催者挨拶、引き続き熊本運輸支局本田支局長の来賓挨拶による開会セレモニー後、地元の和太鼓チーム「大津和太鼓清流会」による勇壮な和太鼓演舞により幕を開けました。

その後は、自動車関連の各種イベントをはじめ、子供向けの人気のキャラクターショーやバルーンアートショー、また、主婦層ターゲットの新鮮野菜や特産品等の販売など、盛りだくさんの催し物により子供から大人まで幅広い世代の方々が来場され、その数は3,159名と予想を超える盛況ぶりでした。

メインイベントの無料点検コーナーや点検教室では、整備士のアドバイスを真剣な表情で聞きながら、日常点検のポイントなどを質問する自動車ユーザーが多数見られ、ほかにも自動車事故対策機構による運転適正診断機を使用したドライブシミュレーションや、熊本県交通安全協会の模擬衝突体験機によるシートベルトの効果体験など、体験型のコーナーは人気が高く、JAFの子供免許証の発行コーナーは、終了時間まで長蛇の列が出来ていました。

また、今年は、整備人材の確保・育成の一環として「ジュニア整備士クイズスタンプラリー」を実施しました。このスタンプラリーは、自動車好きな小学生を対象に4カ所のラリーポイントで自動車や整備士に関するクイズに答え、すべてのポイントで正答した参加者にジュニア整備士ライセンス・認定証などをプレゼントするというもので、小学生300人が参加しました。4カ所のクイズの中には大人でも解答に迷うような難問もあり、親子で悩む微笑ましい姿も見られました。

我が熊本運輸支局も「車の車検・登録相談コーナー」を設置し、名義変更の手続きや定期点検についての質問や相談を受けました。今回は21件の相談があり、支局の職員が丁寧にアドバイスしました。また、検査場では自動車検査法人熊本事務所による実車を使用した検査の見学会が行われ、特にピットでの下回り検査では普段見ることのない自動車の底部が覗けるとあって、参加者は興味津々、検査法人担当者による検査や点検整備の説明に聞き入っていました。

この「自動車まつり」は、回を追う毎に多くの自動車ユーザーが親子連れで来場し、自動車の点検・整備の重要性を楽しみながら学べる充実したイベントとして定着しています。少し待ち遠しいですが、来年のこの時期、熊本の「自動車まつり」を覗いて見ませんか。

「自動車まつり」の様子は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_282_1.pdf

【熊本運輸支局 整備部門】

3 お知らせ

『九州離島観光地域づくりシンポジウム in 奄美群島』のご案内

離島における観光振興策を共に考え、観光に携わる関係者の情報交換の場として、奄美市にて「九州離島観光地域づくりシンポジウム in 奄美群島」を開催致します。

この、シンポジウムでは、九州内の観光振興策の調査発表の他、先進地域の観光関係者による事例紹介や、メディアを交えたパネルディスカッション、奄美群島の首長と誘客を担う航空会社による広域連携での観光魅力発信についての討議などが行われます。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時：平成26年11月13日（木）15:40～

会場：総合宴会会場あまかん（鹿児島県奄美市名瀬港町2-10）

シンポジウムの概要及びお申し込みは下記アドレスをご確認ください

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1009-kankou.pdf>

【企画観光部 観光地域振興課】

4 イベント情報

シチメンソウまつり

日時：平成26年11月1日（土）～11月9日（日）

場所：干潟よか公園周辺（佐賀市東与賀町大字下古賀2885-2）

概要：東与賀海岸に群生するシチメンソウは、秋になると海岸線に赤い絨毯を広げたように鮮やかに紅葉し、風物詩となっています。「海の紅葉」とよばれるシチメンソウを見ながら有明海の干潟のひとときを過ごしては如何。

2014 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

日時：平成26年10月30日(木)～11月3日(月・祝)

場所：佐賀県佐賀市嘉瀬川河川敷

概要：世界各国から100機を超えるバルーンが参加するアジア最大級の国際大会。競技飛行以外にも、動物などかわいい形をしたバルーンを楽しめる「バルーンファンタジア」が同時開催される。また、暗闇の中、河川敷一面に広がったバルーンが、バンド演奏に合わせて、ライトアップされるラ・モンゴルフィエ・ノクチューン(2,3日のみ)も必見です。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

通勤途中のバスや電車の中で、黙々と勉強している高校生をよく見かけます。

使い込んだ感じの参考書を手に寸暇を惜しんで勉強している姿を見ると、私が高校生だった頃と比べて、今の高校生は大変だなあと感じます。

大学入試まで残すところあと数ヶ月。受験生の皆さん頑張ってください。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192